



2022年10月3日

各 位

会 社 名 株式会社ダイセキ環境ソリューション  
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 浩也  
(コード番号 1712 東証プライム市場・名証プレミアム市場)  
問 合 せ 先 執行役員企画管理本部長 珍道 直人  
(TEL 052-819-5310)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年6月30日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年2月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年3月1日~2023年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,800	百万円 2,000	百万円 2,000	百万円 1,155	円 銭 68.75
今回発表予想 (B)	14,800	1,000	1,000	455	27.06
増 減 額 (B-A)	△2,000	△1,000	△1,000	△700	
増 減 率 (%)	△11.9	△50.0	△50.0	△60.6	
(参考) 前期通期実績 (2022年2月期通期)	17,082	2,102	2,112	1,252	74.52

#### 2. 修正の理由

2023年2月期の通期業績予想につきましては、インフラ整備工事関係は、全般的に工事の進捗が想定よりも遅く、当第3及び第4四半期は当初想定処理数量を下回る可能性が高くなりました。また、一部工事については当第4四半期から再開の見通しでしたが、工事現場でのスケジュールが変更となったことにより土壌搬入が半年程度遅れ、翌期の第2四半期頃に再開の見込みです。その他、製造業の設備関連(増設、撤去等)については、コロナ禍で抑えられていた動きの復活が、世界経済の不安定化により後ずれ傾向に有る中で、資材高騰等による建設市況の悪化は更に深刻となるため、受注案件の減少(売上約3億円、3.3%の減少)と利益率の低下(営業利益率8.9%→3.6%)が見込まれます。以上の状況変化から慎重に通期見通しを再検討した結果、2023年2月期の連結業績予想を下方修正することといたしました。

なお、配当予想に修正はございません。

以 上